

58th OSEAL FORUM



Peace

NOV 07-10 2019

HIROSHIMA


The 58th OSEAL FORUM
 Nov. 07-10 2019
HIROSHIMA




広島文教大学書道部のパフォーマンス



琴庄神楽の舞

11月7～10日、平和を象徴する都市、広島で第58回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラムが開催された。絢爛かつ勇壮な「琴庄神楽」の舞いで、OSEAL 地域から足を運んだ12,000人のライオンを迎え、開会式はたいへん盛り上がった。
 原爆の被害により焦土と化した街から奇跡的に復活を遂げた広島は若い力が漲っており、オープニングアトラクションで見せてくれた、広島文教大学書道部のパフォーマンスは若いエネルギーそのものであった。
 MD330～337のガバナーの入場につき、各 OSEAL 地域の役員、LCI の役員が入場し、ジュンヨル・チョイ国際会長ご夫妻の入場で雰囲気は最高潮に達した。
 開会式では基調講演が行われ、「原爆被爆被害とは何か」と題して、広島大学平和センター長・教授の川野徳幸氏より講演を頂いた。
 原爆ドーム対岸の元安川親水テラスでは鎮魂と平和への祈りを込めて「灯ろう流し」が再現された。「灯ろう流し」は毎年8月6日に行われています。

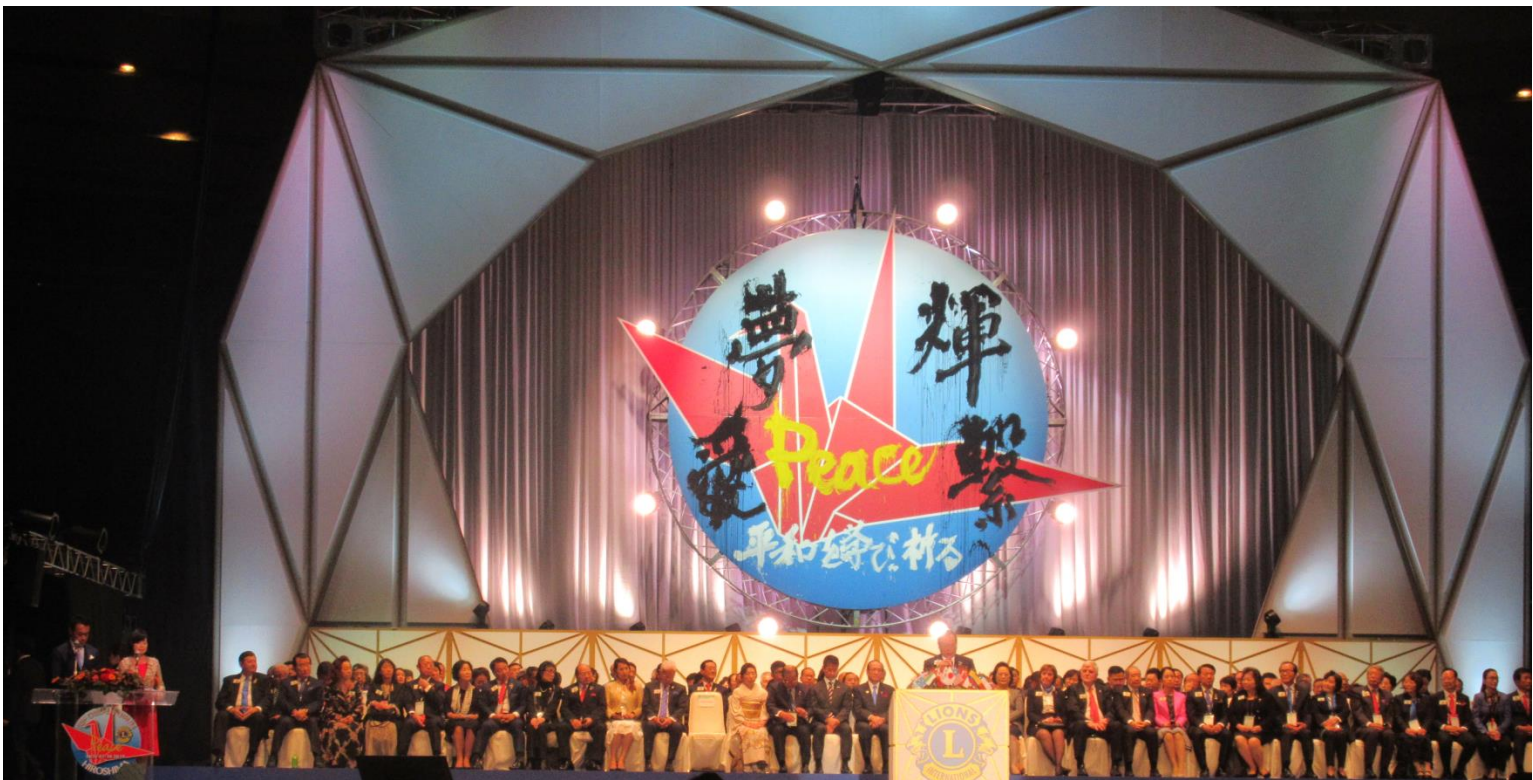


334複合地区ガバナー協議会議長 橋本勝策



334-Å地区ガバナー 根岸昭雄ご夫妻の入場

国際協会役員の入場



フォーラム委員長
L 寺越慎一



国際会長
L ジュンヨル・チョイ



元国際会長
第58回 OSEAL フォーラム名誉委員長
L 山田實紘



川沿いにある受付で灯ろうの紙を購入し、灯ろうを組み立てます。
それぞれに想いを綴り、蠟燭に灯を付けてもらい、川に流します。
あたりが暗くなってからの灯ろうは淡い光を放ち、ひと際美しく輝やいて
いました。
原爆ドームの夜の姿は昼に見る時とは違い、幾分迫力がありました。

原爆ドーム対岸の元安川親水テラスにて